

授業科目名	教職概論（初等）	単位数	2
担当教員名	あまの かずや 天野 一哉	担当形態	単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科目	教育の基礎的理解に関する科目		
各科目に含めることが 必要な事項	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		
「学位授与の方針」との関係			
・ 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。			
・ 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。			
・ 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。			
・ 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。			
授業の到達目標及びテーマ			
（１）教職の意義・職務の十分な理解			
（２）教員及び学校の実践例の認識			
（３）教員としての資質・能力の向上			
授業の概要			
本科目では、「教職の意義等に関する科目」の趣旨に則り、教職の意義、教員の役割・職務内容等に関する知識の教授や自らの進路に教職を選択することの可否を適切に判断することに資する各種の機会の提供などを取り上げ、これらの内容の学修を通して、教員としての使命感や教育愛を育てることを目的としている。			
教育の諸問題は、私たちが生きている今ここで起こっている現実であることから、書籍やネットなど閉じた媒体のみに学ぶだけではなく、生身の人間、動いている世の中から発掘すべきである。そこで、授業では学生諸君と担当教員との対話、教育現場へのフィールドワーク等から「教育とは何か」「問題点は何か」「いかに改革すべきか」などを考察してもらう。			
授業計画			
第１回：教職			
第２回：教師像			
第３回：教育指導			
第４回：歴史			
第５回：実務			
第６回：方法			
第７回：課題			
第８回：課題設定（自己）			
第９回：課題設定（グループワーク）			
第１０回：仮説立案（グループワーク）			

第11回：調査（グループワーク） 第12回：分析/考察（グループワーク） 第13回：プレゼンテーション（グループワーク） 第14回：省察 第15回：展望 定期試験
スクーリングでの学修内容 第1回から第7回（自己学修）までの総括。教員からの問題提起を踏まえ、第8回から第13回までをグループワークによって実施する。
教科書 高妻 紳二郎ほか（2017）『教職概論—先生になるということとその学び改訂版』協同出版
参考文献 （1）各自で自己のテーマに関する学術的専門書・論文を選択し、熟読熟考すること。 （2）天野 一哉（2013）『中国はなぜ「学力世界一」になれたのか・格差社会の超エリート教育事情』中公新書ラクレ
学生に対する評価 スクーリング評価（30％）、レポート評価（25％）、科目修得試験（45％）を総合して評価する。